

デジタル化で負担を軽減

横浜市会議員 伏見ゆきえ

3月の予算特別委員会
で「消防団活動における
デジタル化」を質問しま
したが、横浜市は7月28
日、これに向けて民間事
業者2社と協定を締結し
たことを発表しました。

3月の予算特別委員会
練、車両点検など消防団
活動に伴う報告書は、現
在、各消防団の班長が手書
で作成したあと、分団
長が取りまとめ、消防署
に直接、または郵送で届
ける必要があります。普
通の作業は大
きな負担となります。

災害出勤をはじめ、訓
練は会社員などの本業を

そこで市は民間事業者
から相談・提案を受け付
ける窓口「テーマ型共創
フロント」を活用し、6
月21日から7月5日まで
各種報告事務のデジタル
化提案と開発を募集しま
した。これが今回の締結
の経緯となります。



伏見ゆきえ

1968年川崎生まれ横浜育ち。私立橘女子高卒業後、齒科医院、ヤクルトレディーなどを経て2015年に横浜市会議員初当選。現在2期目。
連絡事務所／〒244-0816 戸塚区上倉田町
390-1表ビル1-B ☎045・443・5757 / 045・443・5671 / Facebookで日々の活動更新中!

そして今年10月から、
市は協定を結んだ2社と
協力してデジタル化に向
けたアプリの実証実験を
始めます。分団数の多い
戸塚消防団もこれに加わ
り、市は来年度以降の運
用開始をめざして報告事
務の効率化を図っていく
としています。

デジタル化により消防
活動の核となる班長や分
団長の負担が軽減され、
訓練、指導に注力するこ
とができるようになるた
め、団の活性化にも繋
がっていきます。そして
質の高い地域活動の実現
も期待できるのではと
思っています。

「自らの地域は自らが
守る」という大変ありが
たい志を持った消防団を
今後も私は全力で応援し
ていきたいと思えます。